



こんにちは

村田 けい子 です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

移動事務所 090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

2022.11.11
No 377

すべての世帯に灯油券 1,000×10枚再び 2950世帯分 2022年11月～'23年2月まで 11.8臨時議会で可決



●11. 8の臨時会において「あったか灯油券」配布事業3,339万円が可決され、商工会に事業を委託、各戸に灯油券が配布されます。委託料は389万円。燃料券やチラシ印刷・郵送料・事務費。税源は全額国の交付金。灯油・ガソリンなどの高騰を受けて、日本共産党立科支部と一緒に「福祉灯油を再び」と町へ申し入れたことが実りました。灯油・ガソリンを販売する住民からは、「突然の値上がり相次ぎ、利益が出ずに赤字となっている。何とかしてほしい」と訴えられました。円安の背景には日本の超低金利政策があり、また、労働者の賃上げが抑えられたままで国民の購買力が上がらず、経済が低迷していることがあげられます。「大幅な賃上げで、消費の拡大」こそが求められます。

●交通業者に上限額45万円の支援金支給

(地域公共交通燃料価格高騰対策事業者支援金)
 ・バス事業者1社 基本料30万円+3万円×車両数
 ・タクシー事業者3社 基本料30万円+2万円×車両数 (上限40万円)
 165万円(国の臨時交付金112万円+町一般財源53万円)



●非課税世帯に3万円...住民税所得割が非課税世帯に見込み400世帯/長野県の制度1200万円

①国の制度の対象(均等割り非課税世帯に5万円)外である非課税でも所得割非課税の方に3万円を長野県として支給するもの。
課税所得38万円～45万円の間の世帯が対象
 ②家計急変世帯...令和4年1月から12月までに1か月でも前年を下回った世帯に支給

1か月だけでも下回った世帯が対象です。
「まずは相談を」してみてください。



【本会議での質問】
 あったか灯油券配布事業は10月の全協で報告されていたにも関わらず、なぜ一か月も遅れた提案か。すでに灯油を購入されている家庭も多い。A,長野県の制度が整わずに、今日になった。



トルマリン大根

菜ないろ畑で求めた小ぶりの大根。外はきれいな緑色、ほんのり赤が透けて見えて、きつときれいだろうなと思って切ってみたら見事な鮮紅色。薄く塩を振って浅漬に。カラフルなトルマリンのような美しさです。



スズメウリ

📷 今週のパチリ!

ご近所さんからこんな小さなウリを頂きました。スズメウリというんだそうです。畑にびっしりになっているそうで、とてもかわいいウリで、実は白くビーズのようです。甘い砂糖菓子のようなスズメウリ。

「小中学校のカバン、町が支給したい」町が表明

...11.8全員協議会で

給食費無償に続き、「小中学校の通学用カバンを支給したい」との報告がありました。

100人、86万円予定。12月議会に上程予定。令和5年1月保護者説明会で説明予定。

【議員からの質疑】

Q,急に子育て支援で手厚くなったが何があったか。

A,若い世代の家計がひっ迫しているので、負担軽減・物価高騰に対して何ができるか考えていた。

Q,年度途中の転入者にはどうするか。

A,届けが回ってくるので、対応できる。

Q,PTAからの要望か。

A,入学時には給食着・運動着、体育館履きなどのたくさん用意するものがある。その中で事務局として考えた。

Q,子育て支援には計画性が必要ではないか。そのお金で教師を加配し、手厚くするという支援もあるのではないか。

A,「きめ細やかな子育て支援を」と申し上げてきた。

子どもの数が減っている。30人学級もその一つ、

Q,子育て支援など全体として検討したのか。

A,今年度の少子化対策については考えてきた。国のコロナ臨時交付金が来たので決断した。

西塩沢住宅団地造成...過疎債は使えず

過疎地指定を受けて、事業主体を立科町土地開発公社から町へ移行した同事業。当初、過疎債が使えるとして主体を変更しましたが、「土地を譲渡して個人の財産になる事業については、過疎債の対象外」ということです。

結局、土地造成については、7割交付（実質的には6割）ではなく、5割交付の特別交付金を使い、残りの5割は町の一般材源を使うこととなります。

地方公務員の定年引上げ。

60歳から65歳定年に向け、2年に1歳ずつ、段階的に延長

—12月議会に条例改正案上程予定—

・給料については、60歳を過ぎるとそれまでの7割水準に。

・退職手当は、60才定年時水準の退職手当に。

給与改定—期末手当を基に戻す。0.05か月増やす予定

今度こそ県会へ

ふじおか義英後援会総会 意気高く！



藤岡義英県議予定候補



一日100人の対話目標を掲げ奮闘している。4人の内2人が統一協会と関係していた。自民党を減らし県民要求実現をする。

・子どもの医療費自己負担をなくし、給食費無償化をする自治体の後押しをするために県の補助制度をつくりたい。

・公立病院削減をストップ、医療への補助を手厚くする。

5人となって代表質問ができないし、質問時間が大きく減った。CO₂削減へ住宅屋根の太陽光発電装置への補助制度、学校給食への発がん性物質グリホサート混入などを指摘し国産・県産小麦の導入、高齢者への補聴器への補助制度の意見書や、物価高への対応、米価下落への対応など求めてきた。

藤岡をなんとしても当選させ県民要求実現のパワーアップを。 毛利栄子県議団長